

福知山市議会
平成29年度第1回「行政視察研修報告会」

報 告 書
(委 員 会)

平成29年11月20日
全議員協議会室

福知山市議会「議会運営委員会」 行政視察研修報告書

1 視察日程

平成29年7月27日（木）～28日（金）

2 視察先及び調査項目

（1）茨城県常総市

「議会運営全般について、通年議会について」

（2）栃木県那須塩原市

「議会運営全般について、議会改革への取り組みについて」

3 参加委員

委員長 塩見卯太郎 副委員長 高橋正樹

委員 西田信吾、柴田 実、竹本和也、吉見茂久

金澤 徹、奥藤 晃、田中法男、

副議長 芦田 眞弘

10名

4 調査報告

別紙のとおり

視察日	平成29年7月27日(木)
視察先	茨城県常総市 人口 60,810人 (平成29年4月1日現在) 市面積 123.64km ² 議員定数 22人
調査項目 施策・取組等	1 議会運営全般について 2 通年議会について
視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等	1 今年度の調査研究テーマの「通年議会」について、すでに「通年議会」を導入されており、通年議会の実施に至る経過、利点、問題点などを調査するため、先進地の常総市を選定して視察した。 2 議会運営全般についても併せて調査した。
調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等	1 議会運営全般について ①議員定数について 合併時は在任特例35名から平成19年に26名に賛成多数で議決。自治会等の陳情受け平成23年22名に。現在も検討委員会で協議中 ②一般質問は3方式であり、代表質問方式は導入されていない。 2 通年議会について ①経過 平成25年6月議会運営委員会で議長から通年議会の導入発案、先進地の柏崎市議会を視察し、8月に全協で協議。執行部も10月調整会議で協議、3月議会で「常総市議会の会期等に関する条例案」と「市長の専決処分事項の指定」を可決し、平成26年5月1日から通年議会に ②目的 議会が主体的に本会議又は委員会の開催によって、議会機能の自律的向上を図り、充実した委員会活動が可能、突発的事態に即応できる。 ③メリット 招集手続きを経ず議長の判断で随時本会議開催可能に。専決処分はごくわずかになる。委員会随時開催、請願の随時受理と審査、意見書、決議も適宜可能に、災害等緊急時に即時対応できる ④デメリット 費用弁償の経費増、他の会議日程の調整が困難に。事務量増加、一時不再議の原則が1回になる ⑤執行部への影響 年4回の定例会議を開催のため以前と差異はない ⑥会期のイメージ 会期は1年 4回の定例会議 随時会議 常任委員会は定例会議中に議案の集中審査 また案件によって随時開催
考察 本市での施策充実化に向けた可能性、課題、今後の調査取組方針等	1 議会運営全般について考察 議員定数について、市民の声の影響が大きかったのではと実感した。 議員定数は、議会の主体性が重要である。また、一般質問も議会における多様性を実感した。 2 通年議会について 発案から10か月で議決。平成26年5月1日から実施。平成28年5月から29年4月の間では、4定例会と1臨時会で本会議は25日であった。 通年議会について、福知山市議会への導入にあたっては、意義、目的の明確化、現行の定例会、臨時会と通年議会の違いや、閉会中の委員会活動が数多く開催されている実態をどのように調整するのが課題である。 また、メリット、デメリットだけでなく、政策立案など議会の機能強化について検討が必要である。

視 察 日	平成29年7月28日（金）
視 察 先	栃木県那須塩原市 人口 116,510人（平成29年4月1日現在） 市面積 592.74km ² 議員定数 26人（平成29年5月1日現在）
調査項目 施策・取組等	1 議会運営全般について 2 議会改革への取り組みについて
視察理由 事前研究等の概要とそれに基づく調査項目・視察先の選定理由等	議会改革度調査2016全国ランキング15位的那須塩原市議会（福知山市20位）から、議会運営全般と議会改革の取り組みを学ぶために視察先を選定した。
調査概要 調査項目の施策・取組等の実施状況等	1 議会運営全般と議会改革の取り組みについて ①平成19年4月議会活性化検討委員会を設置し、分権時代にふさわしい議会を目指して調査、研究を重ねている。全議員が、定数報酬、議会運営、委員会（所管変更含め）、政務調査の4分科会で活動、その後平成21年6月に会派代表による特別委員会設置し、活性化全般の検討し、予算決算の質疑通告制、議員の議案賛否を議会広報に掲載 議会2役の所信表明会など協議事項を順次決定。議員力向上の研修会開催（議運、会議規則、政務活動費、政治倫理など）。平成28年には議運研修会7回（7回目には早稲田大学顧問 北川氏が講師に） ②平成19年から改革に取り組み、議会基本条例を平成24年制定 市民に分かりやすい条文に力点を置き、議員間討議も条文に明記 ③議会報告会の充実へ議会報告委員会を設置 平成27年11月から 報告会は議会報告と会場毎にテーマ設定による意見交換会を ④政治倫理条例を平成23年から調査研究すすめ平成27年3月議決 特徴に資産公開を実施 ⑤議場コンサート 8回 市民親しまれる議会として文化関係者と協賛
考 察 本市での施策充実化に向けた可能性、課題、今後の調査取組方針等	1 福知山市議会に生かすべき点 ①議会運営全般、議会改革を進めるために、全議員による4つの分科会の設置や、議会報告委員会を設置（参加者増）など、目的に沿った委員会を立ち上げ、目標、計画、実践など、PDCAを改革のそれぞれの分野で検証しつつ、新たな段階にすすむようにしていること ②年次ごとの目標、到達点を明確にしていること ③政治倫理条例の制定は参考にすべきと考える。 ④議場コンサートは住民参加の促進で効果が期待できる。 ⑤通年議会は導入は見送りされたが、本市も調査、研究が必要である。 ⑥一般質問や、委員会審査に時間をかけている点は大いに学ぶべきである。